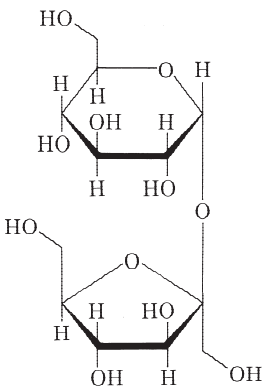


「第十六改正日本薬局方第一追補解説書」 正 誤 表

(平成 25 年 3 月 29 日) (A)

頁	行	正	誤
B-38	↓12	標準溶液 (1) 10 μ L ずつ	標準溶液 10 μ L ずつ
B-41	10	$C_2Na_2O_4$	$C_2O_4Na_2$
B-56	↑7	<p>〈還元緩衝液, ナルトグラスチム試料用〉の前に次の1行を加える。〉</p> <p>カルボプラチン $C_8H_{12}N_2O_4Pt$ [医薬品各条]</p>	
B-69	10	エポエチンアルファ標準品	エポエチンアルファ標準物質
B-71	↑3	多孔性スチレン-ジビニルベンゼン共重合体 (平均孔径 0.3 ~ 0.4 μ m, 50 m^2/g 以下) ₂ <u>ガスクロマトグラフィー用</u> を見よ。	多孔性スチレン-ジビニルベンゼン共重合体 (平均孔径 0.3 ~ 0.4 μ m, 50 m^2/g 以下) を見よ。
C-29	13	還流冷却器を付けて 30 分間煮沸し,	還流冷却器を付けて水浴上で 30 分間加熱し,
C-36	10	本品を乾燥し, 一硝酸イソソルビド ($C_6H_9NO_6$) 約 0.2 g に対応する量を精密に量り,	本品を乾燥し, 一硝酸イソソルビド ($C_6H_9NO_6$) 0.2 g に対応する量を精密に量り,
C-252	1	<p>(1) 溶状 本品 1.0 g を熱湯 10 mL に溶かし, 放冷し, 観察するとき, 液は無色又はほとんど無色澄明で, その色は次の比較液より濃くない。また, <u>この液につき, 水を対照とし, 紫外可視吸光度測定法 <2.24> により試験を行うとき, 波長 400 nm における吸光度は 0.04 以下である。</u></p> <p>比較液: 塩化コバルト (II) の色の比較原液 2.5 mL, 塩化鉄 (III) の色の比較原液 6.0 mL 及び硫酸銅 (II) の</p>	<p>(1) 溶状 本品 1.0 g を熱湯 10 mL に溶かし, 放冷し, 観察するとき, 液は無色又はほとんど無色澄明で, その色は次の比較液より濃くない。</p> <p>比較液: 塩化コバルト (II) の色の比較原液 2.5 mL, 塩化鉄 (III) の色の比較原液 6.0 mL 及び硫酸銅 (II) の色の比較原液 1.0 mL をとり, 薄めた希塩酸 (1 → 10) を加えて 1000 mL とする。また, <u>この液につき, 水を対照とし, 紫外可視吸光度測定</u></p>

頁	行	正	誤
C-254	↑5	<p>色の比較原液 1.0 mL をとり、薄めた希塩酸 (1 → 10) を加えて 1000 mL とする。</p> <p>〈「精製白糖」の英名の次に次を加える。〉</p>  <p>The image shows the chemical structure of beta-D-Fructofuranosyl alpha-D-glucopyranoside. It consists of a fructose molecule in its furanose form (a five-membered ring) linked to a glucose molecule in its pyranose form (a six-membered ring) via an oxygen atom at the C1 position of glucose and the C2 position of fructose. The fructose ring has hydroxyl groups at C2, C3, and C4, and a hydroxymethyl group at C5. The glucose ring has hydroxyl groups at C2, C3, and C6, and a hydroxymethyl group at C4.</p> <p>$C_{12}H_{22}O_{11}$: 342.30 β-D-Fructofuranosyl α-D-glucopyranoside [57-50-1]</p>	<p>法 <2.24> により試験を行うとき、波長 400 nm における吸光度は 0.04 以下である。</p>
C-297	↑4	リン酸二水素カリウム試液 1000 mL にリン酸を加えて	リン酸二水素カリウム試液に 1000 mL リン酸を加えて
C-344	↑11,13	標準溶液 (1) から得たスポット 標準溶液 (2) から得たスポット	標準溶液 (1) のスポット 標準溶液 (2) のスポット
D-48	2	乾燥減量 <5.01> を測定しておく	乾燥減量 <2.41> を測定しておく
D-79	4	GERMINATUS	GARMINATUS
F-36	↑13	$p_a = \frac{S_a N_s M_a m_s}{S_s N_a M_s m_a} p_s$	$P_a = \frac{S_a N_s M_a m_s}{S_s N_a M_s m_a} P_s$
F-54	6	調和年月：2012 年 6 月 (Corr. 2)	調和年月：2008 年 11 月 (Corr. 1)
F-58	10	調和年月：2010 年 6 月 (Rev. 3)	調和年月：2008 年 11 月 (Rev. 2)

頁	行	正	誤
F-62	3	調和年月： <u>2012年6月(Rev. 1, Corr. 1)</u>	調和年月： <u>2010年11月(Rev. 1)</u>
H-34 (左段)	↑8	カルボプラチン <u>B - 56,</u> <u>C - 103</u>	カルボプラチン <u>C - 103</u>
H-191 (右段)	2	Fructus Hordei <u>Germinatus</u> <u>D - 79</u>	Fructus Hordei <u>Garminatus</u> <u>D - 79</u>

(日本薬局方解説書編集委員会)